

(仮称) 花と緑の協働ネットワーク構築支援業務委託 仕様書**1. 業務委託の目的**

本市では「仙台市みどりの基本計画」に基づき、これまで取り組んできた「百年の杜づくり」により培ってきたみどりの多様な機能をまちづくりに積極的に活用し、みどりの整備、維持管理、利活用の取組みを推進するため、市民活動団体や企業等の多様な主体と更なる連携を図ることとしている。

また、本年4月26日～6月18日の54日間にわたり開催した第40回全国都市緑化仙台フェア（以下、「フェア」）では、様々な市民協働プログラムや企業協賛等を展開したほか、多くの市民が植物管理等のボランティアに参加するなど、市民や事業者、子ども達とともに実施したフェアとなった。

このフェアにより高まった市民協働の機運を今後の緑化活動の一層の推進につなげ、次世代の担い手を育成するとともに、緑化活動に携わる市民や事業者が相互に連携する形をつくり、持続的な緑化活動につなげることを目的に、(仮)花と緑の協働ネットワーク事業を開始することを予定している。

また、本ネットワークの運営を通して、フェア会場となった青葉山公園追廻地区や都心部の花壇を市民や企業等の関与のもと維持管理していきたいと考えており、将来的には地域の花壇にも広げていくことを想定している。

本業務は、上記ネットワーク事業の推進に向けて、市民はもとよりCSR活動等による企業・団体からの支援や協力を持続的な緑化活動につなげる仕組みを構築し、多様な主体による協働での緑化活動を推進することを目的とする。

2. 業務の履行期間

契約締結した日から令和6年3月29日（金）まで

3. 業務の内容**【1】ネットワークで必要とする仕掛けやスキームの提案**

- ・本ネットワーク事業の実現に向けて、本市における行政と多様な主体との間に入って協働を支援する中間支援のあり方やスキーム（必要人員や予算を含む）の検討を行うこと。
- ・上記の検討を踏まえ、市民や企業・団体からの緑化活動に関する支援や協力の申出をマッチング（コーディネート）し、実際の緑化活動へつなげる方法を立案し、ネットワークに必要とする仕掛けやスキームを提案すること。提案には本市を含めた実施体制や役割分担も示すこと。
- ・フェアのメイン会場となった青葉山公園追廻地区の花壇、同じくフェアのまちなかエリア会場となった都心部の仙台駅西口ペDESTリアンデッキ花壇や宮城野通プランターについて、上記のようなマッチング案件を実際の緑化活動へつなげる実施フィールドとし、上記の提案によるマッチング（コーディネート）の方法を取り入れた実装までのプロセス及び令和5年度（着手日以降）から令和7年度以内のスケジュールを提案すること。ただし、支援の申出の内容により地域の公園

などとなっても良いこととする。

なお、本ネットワーク事業は多様な主体による協働を促進するため、情報発信、相互交流の機会創出、研修や実践によるスキルアップ研修、企業・団体からの支援の受付とマッチングなどの活動の総体を意味しており、協議会といった組織体とすることは想定しないものとする。

【2】ネットワークへの参加勧奨に向けた広報計画の立案

市民や企業・団体等に本ネットワーク事業への登録を勧奨するにあたり参加メリット等の検討を行い、以下の資料を作成すること。

- ・令和5年度（着手日以降）から令和7年度までの効果的かつ戦略的な広報計画
上記計画は、具体的にターゲットを提示し、広報に係る費用を令和6年度以降は概ね年間50万円と想定し作成すること。また、本市が企業向けにPRを行う機会（企業説明会等への参加を想定）として令和5・6年度の企業向け広報の場の提案を入れること。
- ・市民向け広報チラシのデータ作成
- ・セールスシートのデータ作成
- ・上記資料の作成にあたり、本ネットワークの名称及びキャッチコピーを提案すること。

【3】試行的な取組み

本ネットワーク事業では、フェアで実施した市民や企業が参加した花壇づくりなどの市民協働の取組み（別紙参照）を継承し、新たな担い手の育成に向けた研修会を実施することとしている。中でも小学生以下の子どもが参加できる「たねダンゴ花壇づくり」は、未来の担い手となる子ども達が実際に花や緑に触れて親しむ場となることから、フェアレガシーとして引き続き取り組むことにしている。

このことを踏まえ、本業務では下記のとおり、令和6年3月に実施予定の「たねダンゴ花壇づくり」の実施運営を行うとともに、多様な主体による協働での緑化活動の推進に向けて試行的に【1】での提案による仕掛けやスキームを取り入れて本イベントを実施するものとする。

- ・下記の「たねダンゴ花壇づくり」において、【1】の提案による仕掛けやスキームを取り入れ企業等に参加を呼びかけ、本イベントをモデルに仕掛けやスキームが実際に機能するか検証すること。
- ・次のとおり「たねダンゴ花壇づくり」実施運営を行うこと。

○調整要員を配置する。

以下の人員を必要数配置すること。

- ・全体管理スタッフ
- ・現場管理スタッフ
- ・進行スタッフ
- ・安全誘導スタッフ
- ・運営スタッフ

- ・設営撤去管理者
- ・設営撤去スタッフ

以下の事項については、本市職員を配置するため不要とする。

- ・誘導受付補助スタッフ、参加者のたねダンゴづくりをサポートする運営補助スタッフ、進行MC

なお、以下の事項については、本市が行うため不要とする。

- ・事業実施に必要な資料やマニュアル等の各種資料作成（実施マニュアル、進行台本、参加案内、参加者用資料）
- ・事業実施に関連する機関との各種調整
- ・参加者保険の加入

○講師との調整を行う。

必要とする物品の準備や、スタッフ向け事前説明会、イベント前日の準備、イベント当日の運営や進行について、事前に講師と調整を行うこと。

なお、講師の依頼は、本市が行うため不要とし、謝礼の支払いも見込まないものとする。

○実施運営に必要な備品の調達を行う。

調達する備品は次のものを想定しており、使用後は本市に帰属しないことを前提とするが、詳細については本市と協議の上、決定する。

トラメガ、手洗い用タライ、ポリタンク、トランシーバー

なお、じょうろ、ペグ、ラミネートサイン、ブラカード、立て看板、救護セット、ブルーシート、スタッフ用名札・ビブス、たねダンゴの材料となる種や土等の園芸資材は、本市で用意することから不要とする。

○スタッフ向け事前説明会の実施運営を行う。

フェアでの「たねダンゴ花壇づくり」にサポートスタッフとして参加された方や花壇づくりを行う市民団体にスタッフとしての参加を呼びかけることとしている。その方々を対象としたスタッフ向け事前説明会の実施運営を行うこと。ただし、次のイベント前日の準備と同日に実施する予定とする。

○イベント前日の準備の実施運営を行う。

イベント前日は、上記記載のサポートスタッフ等にイベント当日の流れを説明し、サポートスタッフ等にお手伝いいただき、たねダンゴをつくるための親玉の制作等の準備を行うことを予定しており、上記のスタッフ向け事前説明会と合わせて実施することを想定している。それらの前日の準備について、講師と作業内容や手順、準備物等を調整のうえ、イベント前日の準備の実施運営を行うこと。

○イベント当日（たねダンゴづくり、花壇への植え付け）の実施運営を行う。

実施運営を行うにあたり、参考資料として次の資料を貸与する。ただし、本業務では、スタッフ向け事前説明会とイベント前日の準備を同日で実施する予定としていることに留意すること。

- ・フェア たねダンゴ花壇づくり講習会 運営マニュアル
- ・フェア たねダンゴ花壇づくり 運営マニュアル

なお、本イベントの実施概要は次のとおりを予定しており、詳細については本市と協議の上、決定する。

「たねダンゴ花壇づくり」実施概要（予定）

- 開催候補日：令和6年3月20日（祝・水）
- 場 所：青葉山公園
たねダンゴづくり：仙臺緑彩館（仮予約済）
花壇への植え付け：青葉山公園追廻地区内
- 参加者の対象：小学生以下の子どもとその保護者
- 参加予定人数：200人程度（100組）
- 募集方法：一般公募（本市ホームページや市政だより等で周知予定）
 - ・参加予定人数は総勢200人程度の参加を見込んでいるが、一般公募による親子連れ等の市民のほか市民団体や企業等の参加が考えられ、その内訳は今後本市と調整する。

【4】WEBサイト（協働・連携ポータルサイト）の機能の立案、構築

- ・本ネットワーク事業のWEBサイトで必要とする機能を立案し、WEBサイトのワイヤフレーム、デザインの作成を行うこと。WEBサイトには下記イメージ案のようなコンテンツの掲載を想定しており、詳細については本市と協議の上、決定する。
- ・WEBサイトの構築に際しては、本市職員でも更新できるよう、コンテンツマネジメントシステム（CMS）を採用すること。また、WEBサイトへのアクセス傾向等に関する解析ができるものとする。なお、インターネットへの公開は令和6年6月頃を想定している。

トップページに掲載するコンテンツのイメージ案		
コンテンツ名	主な対象	掲載内容のイメージ
(花と緑の協働ネットワーク) とは	全般	事業の概要を掲載
参加したい	市民	イベントの情報を掲載
知りたい	市民	研修会や講習会の情報を掲載
手伝いたい	市民・学生	ボランティア募集の情報を掲載
応援したい	企業等	協賛やCSR活動の募集を掲載
ご協力に感謝します	企業等	応援により実施した活動や応援してくれた企業等を紹介する情報を掲載
協働の輪が広がっています	全般	応援により実施した活動の場所を明示したマップや各花壇の写真等を掲載
(パートナー) 募集	全般	賛同する仲間の募集を掲載
最新のお知らせ	全般	新着一覧

【5】物品の調達

- ・本ネットワーク事業におけるイベント実施に必要な以下の物品の調達を行う。
 - 横断幕 1枚 (H400mm×W2000mm ターポリン製)
 - 現地設置プレート 2基 (H600mm×W420mm、板面：A3アルミ複合版、意匠面：インクジェット出力+ラミネート加工、支柱：角材塗装仕上げ)

【6】打合せ協議

- 初回、中間、成果品納入時のほか、必要に応じて適宜実施する。
- ※計4回程度を想定

4. 成果品

- ・委託業務成果報告書 1部
- ・上記電子データ 1部 (CD-R、DVD-R等の電子記録媒体により納品するものとする)
- ・その他関係資料 一式

5. 契約に関する条件等

【1】著作権並びに著作者人格権に関する事項

受注者は、成果物に係る著作権法第21条から第28条までに定める権利について、成果物の引渡し時に発注者に無償で譲渡するものとする。

また、本業務のために撮影した写真、イラスト等の著作物について、著作者人格

権を主張しないものとする。

受注者及び受注者以外が著作権を有する写真・イラスト・地図等を使用する場合は、あらかじめ著作権を有する者へ使用及び加工の許可等について書面で確認を行うことを原則とする。

【2】機密の保持

受注者は、本業務（再委託をした場合を含む。）を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、契約の目的以外に利用し、又は第三者に提供してはならない。また、本業務に関して知り得た情報の漏えい、滅失、き損の防止、その他適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。契約終了後もまた同様とする。

【3】個人情報の保護

受注者は、本業務に関して取扱う個人情報について、事前に発注者の了解を得た場合を除き、原則として複写、複製しない。また、本業務に関連する個人情報は、使用後速やかに処分する。

【4】許認可手続き

本業務の実施に必要な各種法令や条例に基づいた各許認可の手続きについては、原則として受注者が代行して行うものとする。また、各許認可手続きに必要な手数料等の経費については、見積額に含むものとする。

【5】契約金額

本業務の実施にあたり、協賛や支援等の活用により予定されていた費用が生じなかった場合には、契約変更を行いその費用について減額するものとする。

6. 業務委託料内訳書について

- ・受注者は、契約締結後14日以内に本仕様書に基づいて、業務委託料内訳書及び工程表を作成し、着手届とともに発注者に提出しなければならない
- ・内訳書及び工程表は、発注者及び受注者を拘束するものではない。

7. その他

- ・仕様書に明示のない事項または疑義が生じた場合は、発注者と受注者で協議の上決定する。

第40回全国都市緑化仙台フェアで実施した市民協働の主な取組み

(1) たねダンゴ花壇づくり

令和4年10月18日(火)～21日(金)にかけて、市内の幼稚園・保育所・認定こども園9施設の園児など380名が、青葉山公園追廻地区でたねダンゴ※づくりと植付けを行い、約2,200個分、約150㎡のたねダンゴ花壇が完成した。サポートスタッフ49名は、園児たちへの指導のほか、たねダンゴの素となる大量の土をこねる作業などイベントの事前準備にも参加した。

※「たねダンゴ」は(公社)日本家庭園芸普及協会の登録商標



たねダンゴづくりの様子

(2) 市民花壇「もりと風のガーデン」

仙台市では令和2年度より「花と緑のアドバイザー養成講座」を開催し、地域の花壇づくりのリーダーを育成している。これまで講座を受講した34名が実践講座として仙台フェアの開幕に向け青葉山公園追廻地区で花壇づくりを行い、この花壇を「もりと風のガーデン」と名付けた。受講生たちは花壇づくり団体「杜の花パレット」を結成し、今後もフェアレガシーとして花壇づくりを続けていく。



受講生による花植え

(3) 仙台駅西口ペDESTリアンデッキ ウェルカムガーデン

まちなかエリア会場の仙台駅ペDESTリアンデッキにおいて、令和4年10月と令和5年4月に、市民参加による花植えを行い、近隣の仙台市立小・中学校4校の児童・生徒や、花と緑のアドバイザー養成講座受講生などあわせて94名の市民が参加した。実施にあたっては、これまでペDESTリアンデッキで花壇を整備してきた緑の活動団体である、一般社団法人「花降る街、仙台」の協力のもと、花壇デザインをはじめ、イベント当日の植付け指導、フェア期間中の花壇のメンテナンスなどを実施した。



参加者への植付け方法の説明

(4) 宮城野通 ウェルカムストリート

まちなかエリア会場の宮城野通において、令和4年12月と令和5年4月、フェア期間中の6月の計3回、市民参加によるプランターや仮設花壇への花植えを行った。花植えには、近隣の榴岡小学校の児童などあわせて74名の市民が参加した。実施にあたっては、宮城野通でまちづくり活動を行う仙台駅東まちづくり協議会の協力のもと、仮設花壇のデザインをはじめ、イベント当日の植付け指導、フェア期間中の花壇のメンテナンスなどを行った。プランターについてはレガシーとして市民による花植えを続けていくこととしている。



参加者による花植え

(5) おもてなしフラワーリング

花壇づくりを行なっている地域団体や企業等に対し、花苗やフェアのロゴマークを記したプレート、フラワーラベルを提供。仙台フェアの全市的な盛り上げを図り、フェア開催の機運醸成につなげた。地域団体51団体、企業15社18カ所、郵便局市内125局および日本郵便(株)東北支社が参加した。



企業参加の花壇

(6) 百社クラブ研修会

仙台フェア開催に向けての機運醸成と次世代の担い手育成を目的に、研修会を開催した。花壇づくりについての基礎研修や経験者向けのステップアップ研修などを実施したほか、花やみどりの活動の経験がない方も含めた多くの市民が参加しやすいよう、実践研修をイベント形式（「たねダンゴ花壇づくり」、「みんなで作る大花壇」、「宮城野通ウェルカムストリートづくり」）で開催した。